

測定・分析の注意点

(受付時間) 午前 8 時30分から午後 5 時15分

(休 館 日) 土曜日、日曜日並びに祝日および12月29日から 1 月 3 日まで

(問い合わせ先) 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227

<測定・分析手続き>

1. 測定・分析等依頼書(様式1)の住所、会社名等、試料名は、報告書の必須項目となりますので、正確に記載ください。試料数が多い場合は別紙を添付してください。
2. 原則として、受付完了後の1. 事項の変更はお受けできませんので、依頼時に十分確認の上ご用命ください。
3. 不明点は、依頼書見本(様式A)をご参照いただくか、事務局へお問い合わせください。
4. 測定・分析等依頼書により事務局へ申込みください。測定・分析試料は、ご持参いただくか、宅配便などでの申込みも可能です。
5. 測定・分析は受付の順番で公平に処理します。

<測定・分析報告書>

1. 報告書は、測定・分析手数料の入金確認後に郵送でお届けします。また、入金手続きが完了され、ご希望の方には、郵送前にFAX(無料)、PDFメール送信(有料)での連絡も可能です。※<測定・分析手数料> 2. で後納の手続きを取られ、測定・分析依頼書の料金後納欄に○印された方には、測定・分析結果を即時ご連絡します。
2. ご提供試料、試験後の試験体は、原則として返却しませんのでご了承ください。
3. 報告書に測定・分析条件の記載が必要な場合は、依頼書の特記事項欄に記載ください。
4. 測定データや写真データが必要な場合は、別途料金が必要となります。

<測定・分析手数料>

1. 測定・分析手数料については、料金表(含む消費税)をご参照ください。
2. 測定・分析手数料は、原則として申請の際にお支払いいただきますので、事前に料金を確認してからご利用ください。ただし、財団賛助会員(原則)の方で事前に後納に関する申請手続きをされている場合は、手数料の後払いが可能です。
3. 測定・分析時に立会いや技術指導を希望される場合は、別途料金にて対応いたします。
4. 測定・分析の実施に関して料金に含まれない消耗品については、別途料金が必要となる場合がありますので、担当者に確認してください。
5. 詳細および不明点については、測定・分析担当者または事務局にお問い合わせください。

<その他>

本料金表および申請書については、当財団のホームページにも掲載しておりますので、ご利用ください。(URL <https://occ.optic.or.jp>)

熱間特性測定事故防止対策について（お願い）

これまで未特定試料の試験を実施した際に、融点を超えた温度で試験を行った結果、成分溶出が起こり炉体や発熱体を損傷する事故がありました。

事故防止策として財団担当者から下記事項についてお問い合わせ、追加試験（有料）についてお願いする場合がありますので、事情ご賢察の上、予めご了承いただきたくお願いします。

記

【対策】

1. 溶融などが危惧される場合（試料詳細が不明の場合）

ステージ 1

- (1) 依頼者との情報交換を行い、試験温度での溶融が無いことを確認する。
- (2) この際、溶融があった場合の復帰費用負担をお願いする事を伝える。
- (3) 費用負担額の目安は別表の「機器修繕想定額一覧（目安）」とする。

ステージ 2

- (1) 溶融について不確定な場合は、依頼者での試験温度までの加熱確認をお願いする。
- (2) 依頼者での対応が難しい場合は、各種焼成試験の項目を追加し、依頼者費用負担の了解を得る。
- (3) 加熱確認をOCCにて実施する。

※損傷試料の解析を当財団が行う（有料）ことは可能です。必要に応じご用命ください。

事故防止対策をお願いする試験項目

・荷重軟化試験	・クリープ試験	・荷重下膨張試験
・熱間圧縮試験	・熱間曲げ試験	・熱膨張試験
・熱膨張試験（TMA）	・熱応力測定	・熱伝導率（レーザーフラッシュ法）
・熱伝導率（熱線法）	・熱伝導率（熱流法）	・各種電気炉 その他記載以外の項目

機器修繕想定額一覧（目安）

事 案	対 応	期間	費用目安
1. 試料から成分が少し溶出し炉内を汚染した。	から焼 ⇒ 財団	数日	無 償
2. 試料から成分が溶出し発熱体、熱電対が損傷した。	部品交換	1か月	1,000千円程度
3. 炉体、発熱体、熱電対などすべて損傷	部品交換	3か月	5,000千円程度
4. 炉体以外、電気系統に異常をきたした場合	引き取り修理	6か月	10,000千円程度
5. 損傷試料の要因解明	財団技術者が対応	要相談	要相談 (ケースbyケース)

汎用装置の場合、メーカーにて部品在庫を保持している確率は極めて高いですが、オーダーメイド部品、海外製品、CやSiCなど需要逼迫部材は、納期が確定できない場合があります。

以上、事故が起こると双方にとってデメリットしかございませんので、秘密保持は厳重に行いますので、可能な限りの情報公開をよろしくお願いします。